

私たち鷲野建材は、建築資材の総合流通センターとして、いつの時代も“安全・快適・便利”そして“活力”のある豊かな空間創り、生活環境創りのサポートを基本として心掛けています。そして多くのメーカーとの力強いネットワーク、幅広いユーザーからの厚い信頼を培い、豊富な製品を取り扱っております。

ネットワーク&コミュニケーション

本社・タイルセンター・工事部
(INAXセンター)

静岡市街の中心部に位置し、迅速な機動性で市内輸送の基地として活躍。

長沼営業所・土木建築・住器住設

東静岡駅、国1、静清BP、流通通り近くに位置し、静岡県東西方面遠距離輸送基地として活躍。

藤枝営業所・生コン土木建築部
(中部住コン岡部工場)

藤枝駅と国1の間に位置し、静岡県西部方面地元周辺輸送基地として活躍。

営業 第1部 (土木・建築部)
生コン・セメント・二次製品等



都市空間、生活環境創りのサポートとセメントの可能性を求めて。

営業 第2部 (住器住設部)
住宅設備機器・タイル資材等



建築物の内側から外側、アミニティーに至るまで全てが専門領域。

営業 第3部 (工事部)
住器住設・タイル等工事



時代の流れに合わせた生活環境創りをサポート。

株式会社鷲野建材 長沼営業所 静岡市葵区長沼2-15-10 TEL054-261-2175

私事 静岡若駒神輿会相談役として、お祭りと神輿について一言。

趣味 神輿(担ぐ〜製作)・絵・小唄・太鼓・DIY。器用貧乏かな？

私共若駒神輿会の夢は、浅間・小梳・別雷、三大神社の神輿の復活と静岡の神輿・渡御(とぎょ・神輿が進むこと)を本物にしていく事です。そして今、その夢が実現されつつあります。神輿渡御とは神輿が氏子中を担がれる事で、台車に乗せ練り歩く(巡行)何基も連なって担ぐ(連合渡御)も含まれます。神様が乗った神輿を境内より市内へ担ぎ出し(宮出)多くの市民が担ぎ棒を通して神様の御利益を直接授けようと群がり、様々な市民の思いを乗せて神社へ帰って行く(宮入)のです。その様な神様の御心を宮入、宮出の時に時間をかけて、暴れ、担ぐ事になるのです。祭り(神輿渡御)は神事です。

私共はこの伝統と文化を大切に、静岡っ子の心意気を末永く伝えたいと思います。



インテリアプランナーの仕事場-2 事務所つれづれ

一級建築士事務所 針谷建築研究室 針谷 哲

「開設」

以前勤めていた職場は、100人前後の職員が活動していた事務所であった。その職場を辞職して個人の事務所を開設し独りでポチポチ仕事をしていると、今までは看板の庇護の下で好き勝手やっていたので、開設当時は大丈夫かな、という気持ちと不安で疑心暗鬼に囚われてしまう。ましてや営業・施主打ち合わせなど、経験の少ない設計技術屋?であった。かなり無茶苦茶な独立であったと思う。たまたま、開設祝儀の事務所の設計管理の仕事を受注することが出来て、多少なりとも気持ちにゆとりが出来た。その施主とは現在でもその会社の繁栄と共に、仕事の以来を受けている。

「移転」

事務所を開設して20年目。その間に移転が5回。考えてみると意外と引越しをしているんだなあと思う。事務所も自宅と兼用、または外部に借りて開設といろいろとありました。その度に荷物を処分、必要な物まで大分捨ててしまった。特に今では手に入らない建築雑誌などは、やはり後悔が未だにあり・・・。カタログ関係は手狭な空間の為最低量にして、インターネットで調べ、営業所に出向いて必要なカタログを頂き活用している。クロスの方厚いカタログは、何枚かのサンプル(300角)を依頼して、施主と打ち合わせ。そんな関係で自分は出歩いてしまうので、事務所にメーカーさんが来ることは年に1~2回程度の閑散とした事務所形態をとっている。

「図面」

9月に以前勤めていた事務所時代に移築設計をした建物の見学会があるとの紹介で、23年ぶりに見学に行った。市の広報等でいろいろな催しをやっている記事は見るが、行く機会は無く時が過ぎてしまっていた。久しぶりに建物を見ると外観は塗装が剥離してレトロになっていたが、内部は移築当時の雰囲気を時と共に盛り上げていた。たまたま当時の施工業者が設計図と工事写真を持参して、当時自分が描いた手描きの図面を見ることが出来て、懐かしさと苦勞がひしひしと思い出された。現在はCADで描くので、その人の癖はあるが感情が感じられない無機質な図面を描いている自分に反省。

「仕事場」

現在のところ社名は「研究室」と、作業空間は「室」で仕事をしている。もう無理とは思いが「室」を「所」にしたいと常々希望を持って設計活動をしている。めざせ「研究所」・・・

